

プロカルシトニンの今までとこれから – 抗菌薬適正使用におけるプロカルシトニンの可能性を探る –

座長 山下 美香（広島赤十字・原爆病院）

演者 伊藤 明広（倉敷中央病院）

プロカルシトニンの今までとこれから

– 抗菌薬適正使用におけるプロカルシトニンの可能性を探る –

◎伊藤 明広¹⁾

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院¹⁾

プロカルシトニン(P C T) は、日本では2006年1月に保険適用となり、敗血症を疑い測定した場合に算定される。日常診療でも幅広く使用されているが、海外では敗血症の診断のみならず抗菌薬治療の開始と終了の適切なタイミングにも有用である可能性が示唆されており、日本でも新たな使用方法として期待されている。特にCOVID-19診療における抗菌薬過剰使用が問題となっており、その対策としても有用である可能性がある。

本セミナーでは今さら聞けないPCTの基礎から新たな使用方法まで解説していく。(ADD-140758-JAP-JA)